

2025 年 12 月 24 日

富士モータースポーツフォレスト株式会社

日本のレース業界・自動車産業が生み出した“夢のスポーツカー” 「童夢-零」追加展示のお知らせ

「童夢 RL-81」との同時展示が実現。2026 年 1 月 17 日(土)には童夢 元副社長によるトークショーを開催



富士モータースポーツミュージアムでは、日本車の耐久レースへの挑戦をテーマとした企画展「耐久レースと日本〜クルマを鍛えた進化の足跡〜」を、2025 年 9 月 18 日から 2026 年 3 月 31 日まで開催しています。今回、追加展示として、12 月 25 日(木)から「童夢-零（ゼロ）」の展示を開始します。

現在展示中のル・マン参戦車「童夢 RL-81」からさかのぼること 3 年前の 1978 年 3 月、スイス・ジュネーブモーターショーで華々しくデビューを飾ったのが「零」です。当時の“夢のスポーツカー”として、強烈なインパクトを放つデザインと、公道走行可能な市販車を目指して開発されました。

本展示では、その後に耐久レースに挑戦した「童夢 RL-81」とあわせ、2 台を同時展示し、日本のレーシングカー開発に息づく情熱と挑戦の軌跡を紹介します。

また、2026 年 1 月 17 日(土)には 2 台の実車を前に、開発に直接かかわった童夢 元副社長の奥 明栄氏(現、東レ・カーボンマジック社長)を迎え、童夢の歴史を振り返るトークショーを開催します。2 月以降も、耐久レース展にちなむ関係者をお招きして、トークショーを予定しています。ご期待ください。



■「童夢-零」主要諸元

年式：1978

全長：3,980mm

全幅：1,770mm

全高：980mm

ホイールベース：2,400mm

車重：920kg

エンジン：水冷直列 6 気筒 SOHC 2,753cc

最高出力(kW/PS/rpm)： 107/145/-

■企画展について

- ・企画展名称 「耐久レースと日本 ～クルマを鍛えた進化の足跡～」
- ・展示場所 富士モータースポーツミュージアム内 1F および 2F ル・マンコーナー周辺
https://fujimotorsportsforest.jp/news/oz4a2ela_x1t
- ・展示期間 2025 年 9 月 18 日(木) ～ 2026 年 3 月 31 日(火)
- ・開館時間 曜日により開館・閉館時間が異なります。
月曜日～木曜日 10:00～17:00、金曜日 10:00～19:00、土曜日・祝前日 9:00～19:00、日曜日・祝日 9:00～17:00
- ・入館料金 富士モータースポーツミュージアムの通常入館料金でご覧になれます。
平日 大人(18 歳以上) 1,800 円、 中高生 900 円、小学生 700 円
土日祝 大人(18 歳以上) 2,000 円、中高生 1,000 円、小学生 800 円
インターネット予約割引(大人-200 円)、各種カード割引(大人-200 円)、団体割引あり
- ・その他 期間中、「世界最高峰レースへの挑戦」コーナーやトヨタ TF109 はご覧いただけません。
- ・企画展示車両 5 台

■トークショーについて

- ・日時 2026 年 1 月 17 日(土) 17:00～
- ・場所 富士モータースポーツミュージアム 2F 特設会場
- ・出演 奥 明栄氏 (元 童夢副社長／現 東レ・カーボンマジック社長)
- ・観覧 通常の入館チケットでご参加いただけます。会場には仮設席を設置しますが、座席数に限りがあるため先着 80 名様までといたします。下記リンクより事前予約をお願いいたします。

<https://stg.e-tix.jp/fuji-motorsports-museum/250801/>

- ・予約開始 2025 年 12 月 26 日(金) 0 時 00 分

以上